

全Aネット平成 29 年度事業報告書

1. 全国の A 型事業所ネットワークづくりについて

- ①各都道府県支部の活動支援(支部立上げ支援)
- ②会員勧誘

平成 27 年度作成のパンフレットの活用し、全Aネットの知名度を上げることをしながら、会の運営への協力を呼びかけお願いした。

会員数:243 事業所 (平成 30 年 3 月 1 日現在)

2. 平成 28 年度ヤマト福祉財団助成事業実施

事業名:「A 型事業の課題と可能性研究」

A 型事業所の本調査 (実態調査) を全国 3,949 事業所に実施した。報告書「就労継続支援 A 型事業の課題と可能性について～」700 部、概要版 1,000 部を 7 月発行した。

3. 平成 29 年度日本財団助成事業実施

事業名:「中間的就労分野における基本的課題と A 型事業の可能性研究」

【A 型フォーラム開催】 (地域公聴会、意見交換会)

「良き A 型事業のあり方」を探る意見交換会を全国各地で、年 4 回開催する。各地域では全 A ネットの会員が役割分担し、フォーラムの運営に協力する。

- ① 7 月 22 日(土)「はたらく NIPPON! 計画 A 型フォーラム in 大阪～いきいきと働ける A 型にしよう!～もうぼちぼち働こかあ、自分?」

大阪国際交流センター 〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 8-2-6

参加者: 94 名参加

- ② 9 月 1 日(金)～2 日(土)「はたらく NIPPON! 計画 A 型フォーラム in 福岡～いい A 型のあり方を考えるいきいきと働ける A 型にしよう!」

ヤマト福祉財団パワーアップフォーラムと連携して開催

エルガーラホール 〒810-0001 福岡市中央区天神 1-4-2

参加者: 184 名参加

- ③ 11 月 11 日(土)「はたらく NIPPON! 計画 A 型フォーラム in 愛知～A 型事業所のあり方を見直し、新しい発展をつくりだそう!」

愛知学院大学名城公園キャンパス 名古屋市北区名城 3-1-1

参加者: 127 名参加

- ④ 2 月 24 日 (土)「シンポジウム in 横浜～A 型事業の在り方を考える～」

横浜市開港記念館 横浜市中区本町 1-6

研究会のまとめの発表の場とした。参加者: 191 名

【研究会】

平成 29 年、日本財団の平成 29 年度助成事業「中間的就労分野(保護就労及び支援付就労)における基本的課題と A 型事業の可能性検討事業」を受託、年 9 回の専門家による研究会と、全国 4 都市においてフォーラム(大阪、福岡、愛知、横浜)を順次開催した。

特に研究会の開催については、全 A ネットが研究会「中間的就労分野における基本的課題と A 型事業の可能性研究事業」を設置、外部より 7 名の専門家の先生方に委員になっていただいて、平成 29 年 6 月 12 日から平成 30 年 2 月 7 日まで計 9 回開催した。福祉的就労から一般就労にわたる A 型事業の課題と可能性について、幅広く議論をしていただいた。

検討会の開催日及び主なテーマ:

第 1 回研究会 (平成 29 年 6 月 12 日)

第 2 回検討会 (平成 29 年 7 月 3 日)

第 3 回検討会 (平成 29 年 7 月 24 日)

第 4 回検討会 (平成 29 年 9 月 4 日)

第 5 回検討会 (平成 29 年 10 月 3 日)

- 第 6 回検討会 (平成 29 年 11 月 7 日)
- 第 7 回検討会 (平成 29 年 11 月 28 日)
- 第 8 回検討会 (平成 30 年 1 月 10 日)
- 第 9 回検討会 (平成 30 年 2 月 7 日)

開催場所：東京都千代田区内神田 1-4-1 大手町 21 ビル 10F 株式会社 FVP
開催時刻：15：30～18：00

4. 平成 29 年度日本財団緊急助成事業実施

- ①オランダ及びドイツにおける障害者就労事業の先進事例調査
平成 30 年 1 月 14 日～21 日
オランダとドイツに、超党派の国会議員 6 名、全 A ネット、日本財団関係者とともに先進事例の視察を行った。近日中に報告書を作成予定。
- ②A 型せとうちサミット in 倉敷の開催
平成 30 年 3 月 18 日
倉敷アイビースクエアにおいて、A 型事業所の廃止と大量解雇を受けて、関係者が団結し、声を上げ「A 型ではたらくすべての人が元気になる」をテーマに開催した。参加者約 300 名

5. 国のヒアリング参加について

- ①平成 29 年 6 月 29 日 (木) 第 2 回「障害福祉サービス等報酬改定検討チーム」にてヒアリングを受け、要望をした。
- ②平成 29 年 11 月 7 日 (火) 第 4 回「今後の障害者雇用促進制度の在り方に関する研究会」にてヒアリングを受け、論点 1～6 に沿って要望をした。

6. 他団体との連携事業

- ①12/4 日本財団主催「就労フォーラム 2016」の分科会担当
- ②9/1 ヤマト福祉財団パワーアップフォーラムと連携
- ③超党派国会議員による「インクルーシブ雇用勉強会」へ参画
障害者就労支援については障害者総合支援法の就労系事業と障害者雇用促進法の労働雇用施策に分かれていて、縦割り行政の壁があり、また働きづらい方たちも含めることを考えたとき、障害者の定義についてなど課題は山積している。
28 年 11 月より毎月 1 回参議院会館にて議員の方の勉強会に、市民側として 11 団体が参加、「きょうされん」と「全 A ネット」が幹事団体となる。
 - 平成 29 年 12 月加藤勝信厚生労働大臣に「障害者雇用・就労施策にかかる緊急提言～障害者にとってインクルーシブでディーセントな雇用・就労の促進に向けて～」を提出
 - 平成 30 年 2 月 27 日に正式に「インクルーシブ雇用議連」が設立
- ④ILO 活動推進協議会の「障害者のディーセント・ワーク実現に向けて求められる施策のあり方に関する調査研究—就労継続支援 A 型事業利用者へのヒアリング調査を通して—」調査研究 (精神障害者へのヒアリング) への協力
- ⑤全国就業支援ネットワークの厚生労働省「障害者総合福祉推進事業～就労継続支援 A 型・B 型の賃金・工賃の向上に関するモデル事例収集と成功要因の分析にかかる調査研究」への協力

7. 総会・理事会

- ①総会～平成 29 年 6 月 24 日 (土)
- ②理事会～年数回 6/24 (土)、10/6 (金)、3/22 (水)

8. その他

平成 30 年 6 月 23 日 (土)
全 A ネット